

光・赤外線天文学大学間連携事業 <https://oister.kwasan.kyoto-u.ac.jp/> OISTER (Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research)

国立天文台のプロジェクト延長を申請中

- 2021年度の国立天文台のプロジェクト外部評価（第2期中の2017年度～2021年度）は概ね良い評価(特に教育面)だったが、これからの発展に向けての課題の指摘があった。指摘事項への対応も含めてプロジェクト延長の申請中。

第3期発足(2022年4月～)

- 時間軸天文学(Time Domain Astronomy)、マルチメッセンジャー天文学の研究、教育活動を通して、新たな知見を得ると共に未来を担う若手研究人材の育成に貢献する。

参加機関

- 国立天文台、北海道大学、埼玉大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、兵庫県立大学、広島大学、鹿児島大学

2022年度の活動報告

- ToO観測：5件(矮新星、メタノールメーザー天体、X線連星、超新星)、キャンペーン観測：1件（小惑星）
- 観測提案募集: 2022年11月期 応募13件（小惑星、超新星、X線連星、GRB、AGN）
- OISTERのデータを使った論文出版：査読有1本（X線連星、Yoshitake et al. 2022）
- OISTER WS、2023/2/28-3/1、名古屋大学+オンライン開催、テーマ「OISTER第3期の展開」、口頭32件、ポスター9件
<https://oister.kwasan.kyoto-u.ac.jp/oister-workshop-ws2022/>
- 短期滞在実習（1件; 埼玉大院生→鹿児島大学(装置開発)）
- データ解析講習会（計4回; オンライン開催）撮像データの一次処理から開口測光まで
- 初心者向け装置開発講習会（1回; 東京大学）高橋 英則氏（東京大学）「天文観測機器開発あれこれ」
- 談話会 第5回(2023/1/10) 前原裕之氏「恒星フレアとそれに伴うプラズマ噴出現象の観測的研究」